

# 進木

進木【すぎ】…『杉』の語源。ぐんぐんと上に向かって、まっすぐに進む木の様子。



第17号

2026年2月 発行

杉中学校でイジメを無くすために自分頑張っていました。すぎーね★

1月にすべての学年において、「いじめ防止授業」を実施しました。3年生は道徳教材「卒業文集最後の二行」にて、1・2年生は「いじめの定義」をはじめ、いじめに関することについての確認をしたあと、各クラスで「いじめ防止3原則」を考えました。各学期で1回（年間3回）実施をした「いじめ防止授業」がすべて終了しました。白を追うごとに、生徒同士でのトラブルが減り、自分を大切にすることと相手の気持ちを考え、行動する姿勢がみられるようになりました。これからもさらに安全で安心できる杉中を目指しましょう。授業後の振り返りを紹介します。

注意 や本音と言っ合える ふんいきの クラス だった。

いいと思うし、いじめは起きないと思う。みんなが

いじめはゼロだ！と必ず言えるような

クラスになったさ、いいと思う。

明るい雰囲気を作ること。安心できる環境を作ること。いじめについで考えること。クラスのみんなが互いのことをリスペクトし合うこと。

人のそんぶいを軽くみず、周りの人を大切にそんぶいをしてあげよう。調子にのらね、誠実に生きる真面目になる。人のことをいじめずいままがあらう他のことをする。

暴力はしないとか決めたけど、結局相手の気持ちを考えない、と止めることはできない、と分かった。自分も同じことをされたらどんな気持ちになるのかを考えるのが一番大切なことだと思った。

相手のことを考えて行動する。みんなに平等に接する。助け合う

クラス全員のいじめに対しての考え方を変え、いじめでその人の人生をうばうことになってしまうということを全員知り、口調をやさしくする？遊びでも大げさに暴言を言わない？

・スルースキルを身につける

・うわさを証拠なしで信用しない

いじめには第三者なんて存在しないから、クラス一丸となっていじめを未然に防いでいきたいと思います。またクラスで互いに監視しあっていじめが起きそうな環境、雰囲気をつくらばいように積極的にコミュニケーションをとってあげたいと思います。

いじめをなくすために自分、クラスができることをしっかり考えることができた。クラスの目標のTTをこれから意識してすごしていきたい。来年もいじめはいけないことでそれを見ている人や笑っている人もいじめになることを頭にいかせてほしい。いじめを見つけたら、大人に言うんだり、見るだけにならないようにしたい。これからも助け合っていきたいと思った。

人はそれぞれ違うから、相手と自分の違いをいかに、マッスルな気持ちで受けとらなければならない。でも、自分の意見を相手に伝えて、イチャイカの個性をみとめあえるように。違うと思うけど、自分らしくして、相手のことも理解したより良い関係になると思いたい。なので、自分が今どんな気持ちなのか、しっかり相手に伝えることは、これからも大切にしていきたいです。そして、今自分の状況が嫌にならぬ、無理に何も言わず、時には逃げていいことも、選択肢として大切にしたいです。

今日の授業では、クラスの中でいじめが起きないように原則を考えて、「暴力をしない」とかじゃなくて、こうしたら暴力は少ないよ、とか分かっていじめがダメなのも、ダメな理由を分かってもらって、誰かを傷つける行動をしようとかがあるから、今日考えたことを常に頭においておきたいと思った。

誰でしっかり話をあつたの？すか。た、たす。

これからも考えることがあ。から、今日言合ったことを思い返して、いじめについて考えたいと思います。



どんな理由がある、でもいじめをこそは絶対にしてはいけない  
ことだから、みんなが優しい気持ちで人と関わることが  
できた方がいいと思う。来年度は3年生になるから  
いじめがない最後の中学校生活にしたい。

今日の授業では、クラスの中でいじめが起こらないような原則を考えて、  
「暴力をしない」とかじゃなくて、クラスに暴力をしないようが大切だ」と分かった。  
いじめがダメなのも、ダメな理由も分かってるつもりでも、誰かを傷つける  
行動をしてしまうことがあるから、今日考えたことを常に頭においておきたいと思  
った。

今日の授業で、いじめをなくするための三原則を考えて、クラスで決めたけど、自分では一番大事  
なことは、おてめえが正しい、暴力を言わないこと、自分がされて嫌なことはしなくて思  
った。だから自分は被害者・加害者、どの立場にもならないように、いじめを止めたときにス  
トリしたと思った。とめにスミのかかったとしても、誰が失礼を親で話をしたりはできるから、  
自分ができることは最大限につけていし、自分がいじめられた時にもならなければいいと思った。  
来年度はいじめのことについて学びと思うけど、自分には関係ないからいなくて、自分どの立場にも  
おわかんない、おてめえが正しいと受け止めて来年度も学びたいと思ふし、これからいじめがなくな  
る自分ができることはちゃんとしたいからこれから意識をちゃんと持って過ごしたいと思ふ。

学期の始まりに毎回やるけれど、いじめについて考える  
能力がよくなってきていると感じたから、来年度さらに上へいけ  
るようにしたいのと、習ったことを引き重たせるようにして  
いきたいと思います。

この授業はもう6回目だから結構理解してきているけど、だからこそ気が  
ゆるんでしまっていて気づかないうちにいじめてしまっているのがありそうで怖いな  
と思いました。無意識にしているのが一番怖いから見ていたら助けてあげたいし、  
自分に何かできることがあったら協力してあげたいと思った。

いじめはよくないから、いじめについて考える時間はとても大切に  
にしたいと思います。今回の学習でいじめは悪りに流されてしまうから、おきてし  
まうんだと考えながら、悪りに流されないこと、それから生活でも意  
識して行動しようと思った。また、今回決めたクラスでの三原則も意  
識して行動する。

今日の授業を聞いてこの時代はすでにいじめになるしやてはいけな  
いこととした。自分が「ほうかんしゃにはならず」に大丈夫？とかをきいて  
先生や周りの人に相談するなどのいじめをなくすようなことをしよう  
と思いました。

## ～3年生で実施した「SST～怪盗フクロウ～」の感想を紹介します～

- ・（課題の解決に向けて）役に立ちたいし、情報の整理を口に出して言うから迷惑になる  
かなって思っていたけど、間違えて言った時は班の人が正してくれたり、聞いたことを何度も教  
えてくれたりして、しかも「〇〇ちゃんおらんかったらムリやった」「そこに✓でいいの!？」と  
か言ってくれて、ちゃんとできてよかったと思った。間違えたり足をひっぱってしまうのが怖い  
けど、班の人を信じて、間違えても互いに話し合って正し合えるような話し合いの仕方が出来る  
と良いし、そんなことをできる人でありたいと思った。
- ・今回のグループ学習を終えて、1人だけでしていたら難しかっただろうけど、みんなと協  
力で課題の答えのヒントとなるものをメモして行って、集めたものを合わせていって答えを得る  
ことができたので、協力する意識の大切さを詳しく理解することができた。
- ・協力することはとても大事だということに気付いたし、伝えないと始まらないので、伝えるの  
は大事だということも気付いた。

AI（人工知能…ChatGPTやGoogle Geminiなど）をはじめとする最先端技術産業の急速な発  
展が進む現代社会において、人間の役割（仕事）がどんどんロボットやコンピュータにとって  
変わってきています。例えばデータ入力を集計・分析する仕事、コンビニやスーパーのレジ、  
ホテルのフロント、飲食店で注文や会計をするホールスタッフ、コールセンター、翻訳や通  
訳の仕事など…。

AIは生活が便利になるために、“人”によって生み出されたものです。これまで人の作業に  
よって時間がかかっていたものが、AIの誕生によって作業が効率化し、“人”は新たな時間を  
得ることができました。その時間を使って、これからどんどん新しいものを生み出していくこ  
とが可能となります。これから先どんな未来が訪れるのかがまったく予想できない今だからこ  
そ、“人の価値”が問われる時代となっています。自分を磨き（ジリツ）、  
人と人が繋がっていく力（共生）を伸ばしていくこと（チャレンジ）  
が大切であり、“人の価値”として求められています。

人と人が競い合う・高め合うことはあっても、争い合う・傷つけ合う  
ようなことをしている場合ではありません。自分を磨き、人と人が繋が  
っていく力を伸ばしていくために、一人ひとりにとって安全で安心で  
きる杉中をつくっていきましょう。

